

かりんとう製造中止の危機

2011年3月30日 山陽新聞

かりんとう製造ピンチ

福山の福祉事業所

東日本大震災の影響で、福山市引野町南の障害者福祉サービス事業所「ジョイ・ジョイ・ワーク引野」が、

東日本大震災 原料仕入れ先被害

地元の特産品を使ったかりんとうの製造中止の危機に追い込まれている。原料の生地を仕入れていた宮城県の商品加工会社が震災で被災したため、関係者は途方に暮れている。(村上達也)

に仕上げていた。だが、沿岸部にあった食品加工会社は津波で流されてしまったらしい。同社の社長は避難所にいることがインターネットで確認でき、製の小麦粉の在庫が乏しいなど課題が山積。現状では製造継続は見通しがたいという。ジョイ・ジョイ・ワーク引野では今月、日本財団(東京都)の助成を受けて福山市曙町の元縫製工場を改修したかりんとう専用の製造所「ジョイ・ジョイ・ワークかりん」が完成。4月から従来の約1・5倍の月約2千袋を目標に作業を始める矢先だった。池田理事長は「このままでは、置いてもらっている販売先を失ってしまうかもしれない。被災地の皆さんは大変な苦勞をなさっているが、私たちも継続のめどが立たないよう



製造中止の危機に直面している地元の特産品を使ったオリシナルかりんとう

継続 見通し立たず

同事業所は、保命酒やピオーネ、アンスなど地元特産品が入ったかりんとうを製造し福山市内などで販売。クッキーのようなサクッとした歯ごたえが人気を集めている。宮城県女川町の食品加工会社に保命酒やピオーネなどを送り、おからを使った同社特製の生地に練り込んだ後に送り返してもらい、同事業所で利用者7人が低温の油で揚げてかりんとう

同社は、保命酒やピオーネなど地元特産品が入ったかりんとうを製造し福山市内などで販売。クッキーのようなサクッとした歯ごたえが人気を集めている。宮城県女川町の食品加工会社に保命酒やピオーネなどを送り、おからを使った同社特製の生地に練り込んだ後に送り返してもらい、同事業所で利用者7人が低温の油で揚げてかりんとう

2011年3月30日 山陽新聞